

地 域 防 災 に つ い て の ア ン ケ ー ト 調 査

〔調査結果の概要：老松学区版〕

令 和 7 年 3 月

名 古 屋 市 防 災 危 機 管 理 局

目 次

調査結果

調査のテーマ・趣旨	1
調査の回収結果	1
1. ご自身のこと	
問3. 使用している情報通信機器やSNSについて	2
問4-1. 災害対策委員の委嘱期間について	3
問4-2. 災害対策委員の他に兼務している役職について	4
2. 自助の啓発・推進	
問5. 住民への避難行動に関する知識・情報についての啓発について	5
問6. 住民への各家庭での備えへの啓発について	6
問7. 住民への自助啓発の実施または実施予定の方法について	7
3. 共助の推進	
問8. 地域での共助ルールの設定について	8
問9. 避難支援の把握・検討状況について	9
問10. 避難支援の把握・検討ができていない理由について	10
4. 災害救助地区本部の活動	
問11. 災害救助地区本部委員であることの認識について	11
問12. 災害が発生したとき、災害救助地区本部委員として担う役割について	12
問13. 災害救助地区本部委員として担う役割を理解している理由について	13
問14. 災害救助地区本部での活動と自主防災組織での活動の優先順位について	14
5. 避難所の運営	
問15. 学区内の避難所の「避難所管理組織」メンバーになっているかについて	15
問16. 避難所開設に必要な情報・手順の把握について	16
問17. 避難所開設に必要な資機材の保管場所・使用方法の把握について	17
6. 今後の防災活動	
問18. 研修や講習会で受講または取り上げたいテーマについて	18
問19. 住民同士や、区役所・消防署と行う話し合いで取り上げたいテーマについて	19
問20. 参加または開催したい訓練などの活動について	20
7. 活動に関する障害や必要な支援	
問21. 地域防災活動を行うにあたり、最も大きな困りごとについて	21
問22. 災害対策委員として活動を行うにあたり、必要な支援について	22
問22-8. 地域の防災活動へ参加してほしい人について	23
8. 最後に	
問23. 災害対策委員の業務や地域防災活動の実施等についてのご意見	24

調 査 結 果

調査のテーマ・趣旨

地域防災についてのアンケート

① 調査の目的

災害対策委員の皆さまが日頃より実施している地域防災活動の状況や、認識している地域防災に関するニーズや課題を把握し、その内容を地域ごとの防災活動（防災訓練や講習会など）に反映させ、地域防災力を向上させるために実施するものです。

② 調査対象者 名古屋市災害対策委員

③ 調査方法 郵送法（回答返信又は区に提出・インターネットで回答）

④ 調査期間 令和6年11月5日(火) ～ 令和7年1月31日(金)

⑤ 対象者数 名古屋市： 5,475 名
 中区： 331 名
 老松学区： 30 名

調査の回収結果

区分	回答者数	回答率
名古屋市	2,883 名	52.7 %
中区	112 名	33.8 %
老松学区	16 名	53.3 %

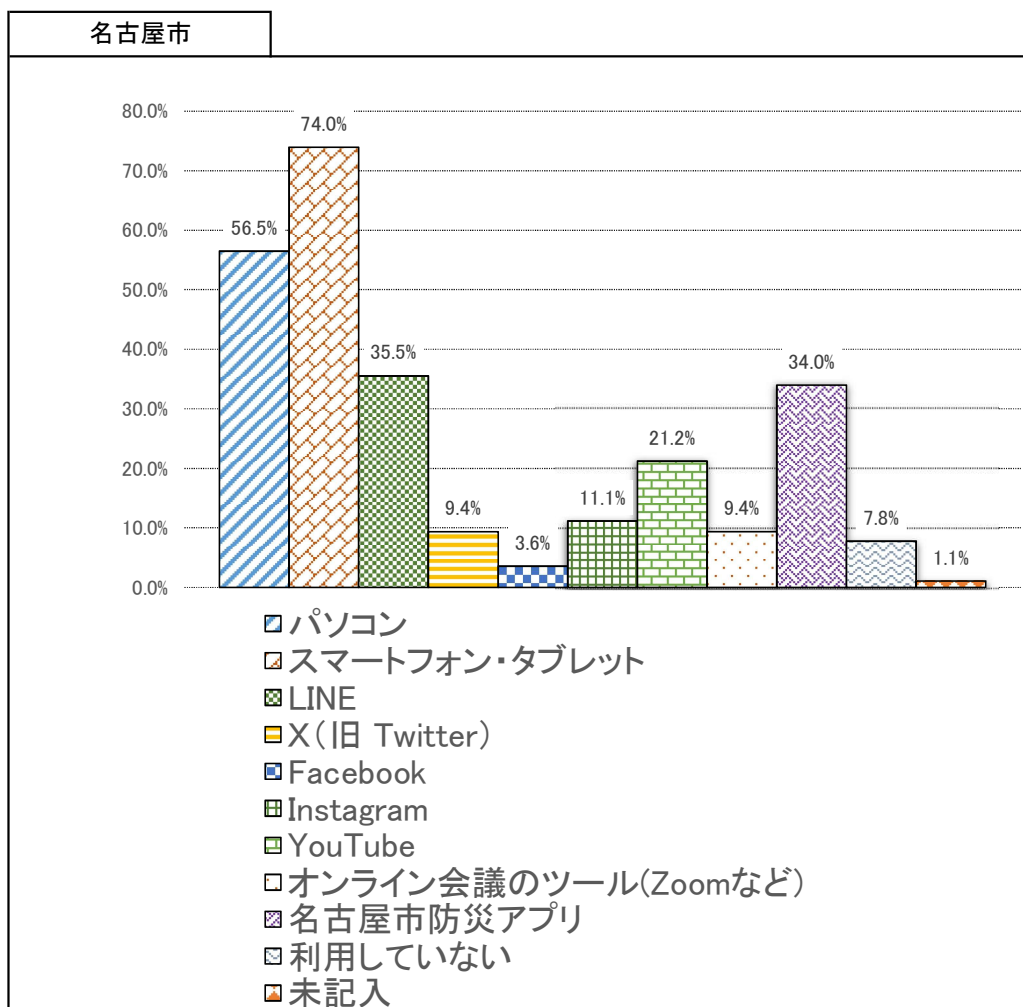
※なお、このアンケート調査において、判読不明なものに関しては、「無回答」とする。

1. ご自身のことについて

問3 今後の防災活動の参考にするため、ご自身が使用している情報通信機器やSNSなどを教えてください。(複数選択可)

	使用している情報通信機器やSNS	老松学区		中区	名古屋市
		回答数	構成比	構成比	構成比
1	パソコン	9	56.3%	57.1%	56.5%
2	スマートフォン・タブレット	13	81.3%	61.6%	74.0%
3	LINE	6	37.5%	42.9%	35.5%
4	X(旧 Twitter)	0	0.0%	9.8%	9.4%
5	Facebook	1	6.3%	6.3%	3.6%
6	Instagram	3	18.8%	12.5%	11.1%
7	YouTube	5	31.3%	24.1%	21.2%
8	オンライン会議のツール (Zoomなど)	1	6.3%	8.0%	9.4%
9	名古屋市防災アプリ	5	31.3%	34.8%	34.0%
10	利用していない	0	0.0%	12.5%	7.8%
11	未記入	0	0.0%	0.9%	1.1%
	計	43	268.8%	270.5%	263.4%

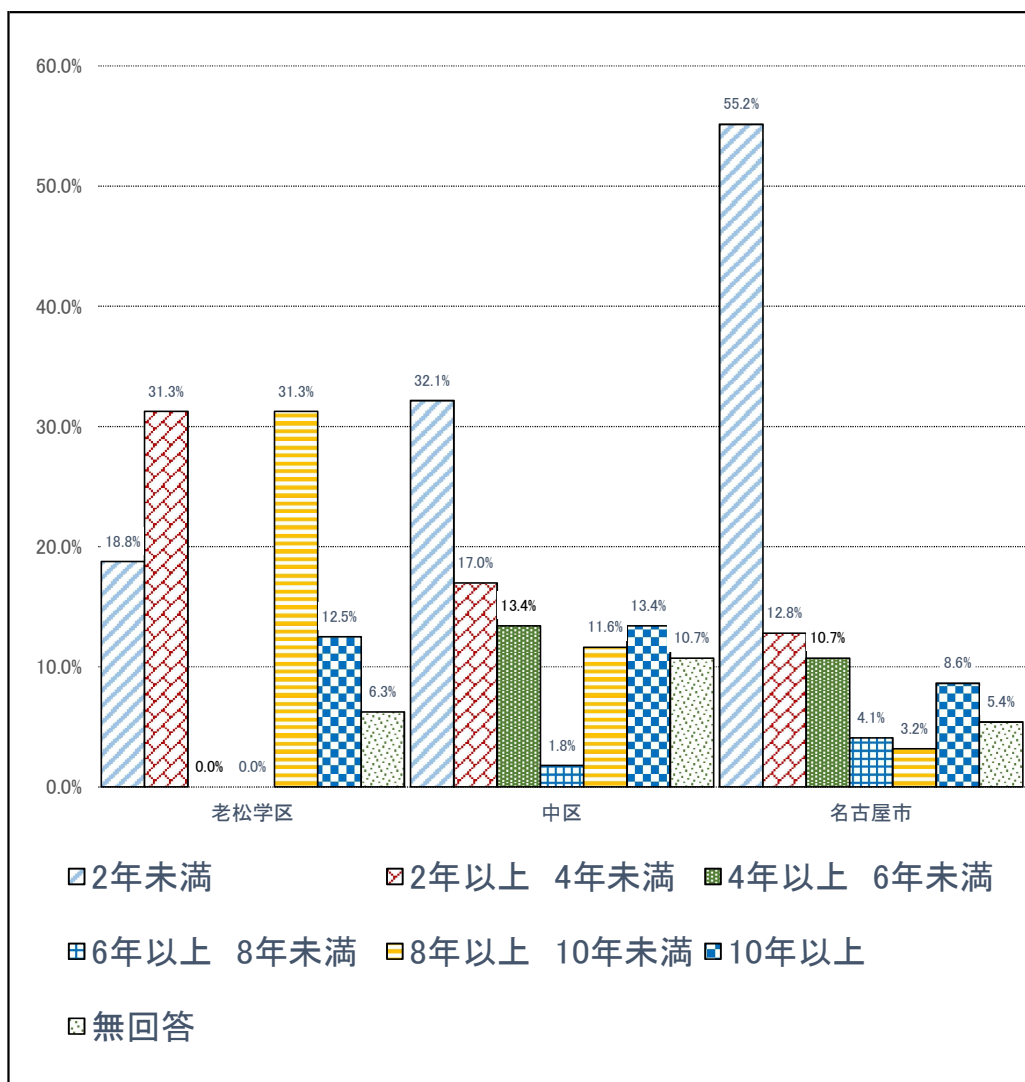
グラフ: 使用している情報通信機器やSNS



問4-1 災害対策委員としての委嘱期間を教えてください。

	委嘱期間	老松学区		中区	名古屋市
		回答数	構成比	構成比	構成比
1	2年未満	3	18.8%	32.1%	55.2%
2	2年以上 4年未満	5	31.3%	17.0%	12.8%
3	4年以上 6年未満	0	0.0%	13.4%	10.7%
4	6年以上 8年未満	0	0.0%	1.8%	4.1%
5	8年以上 10年未満	5	31.3%	11.6%	3.2%
6	10年以上	2	12.5%	13.4%	8.6%
0	無回答	1	6.3%	10.7%	5.4%
	計	16	100.0%	100.0%	100.0%

グラフ:委嘱期間



問4-2 災害対策委員の他に、兼務されている役職があるか教えてください。区政協力委員、災害救助地区本部委員は除いて回答してください。

	兼務役職	老松学区		中区	名古屋市
		回答数	構成比	構成比	構成比
1	町内会長・自治会長	13	81.3%	85.7%	84.3%
2	自主防災会長	1	6.3%	8.9%	21.5%
3	消防団員	0	0.0%	5.4%	2.5%
4	民生委員	0	0.0%	7.1%	3.3%
5	保健環境委員	4	25.0%	20.5%	10.9%
6	その他(自由記述)	2	12.5%	8.9%	9.0%
7	未記入	1	6.3%	4.5%	7.0%
	計	21	131.3%	141.1%	138.6%

【その他】の具体的な内容:一部抜粋

・区政協力委員 ・保護司

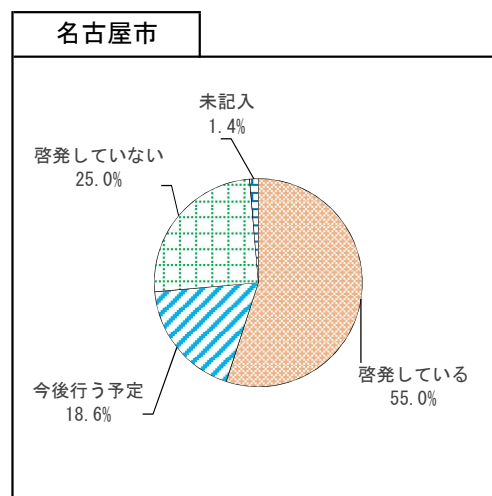
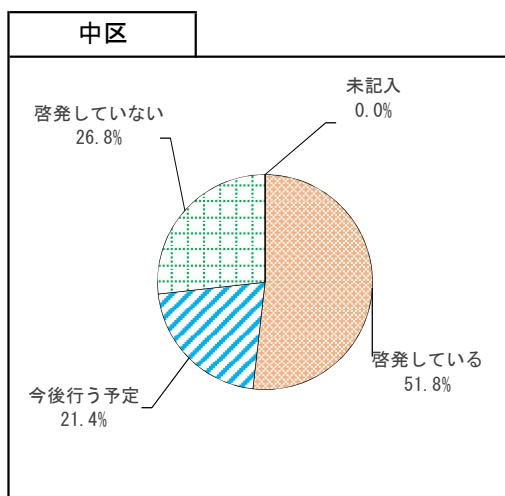
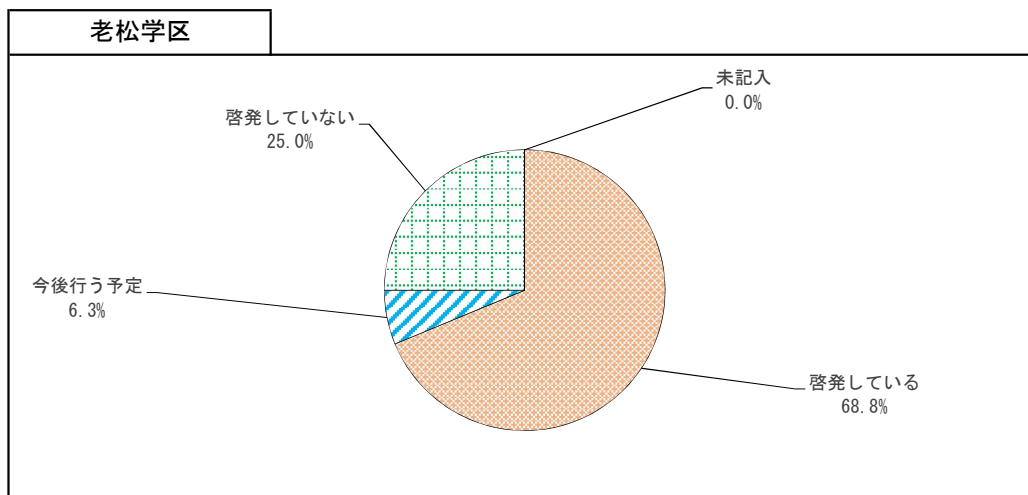
2. 自助の啓発・推進

大災害が発生した際、行政などによる救助・支援の「公助」には限界があるため、住民一人ひとりが「自分や家族の命は自分で守る」という「自助」の意識を持つことが重要です。

問5 住民に対し、避難行動に関する知識・情報※について啓発しているか教えてください。
 【※例 ハザードマップに掲載されている災害リスク、指定緊急避難場所（緊急避難するところ）と指定避難所（避難生活を送るところ）の違い、警戒レベルや避難情報（高齢者等避難・避難指示など）の意味 など】

	啓発活動	老松学区		中区	名古屋市
		回答数	構成比	構成比	構成比
1	啓発している	11	68.8%	51.8%	55.0%
2	今後行う予定	1	6.3%	21.4%	18.6%
3	啓発していない	4	25.0%	26.8%	25.0%
4	未記入	0	0.0%	0.0%	1.4%
	計	16	100.0%	100.0%	100.0%

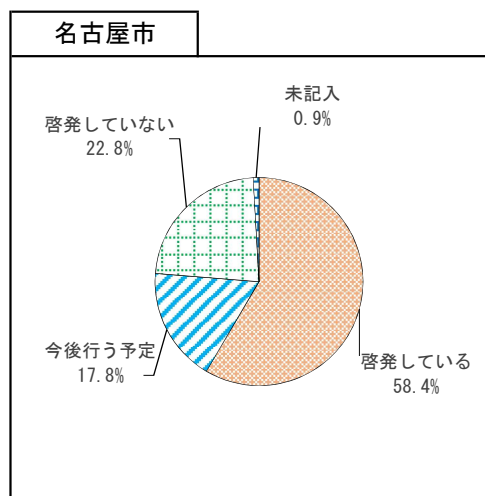
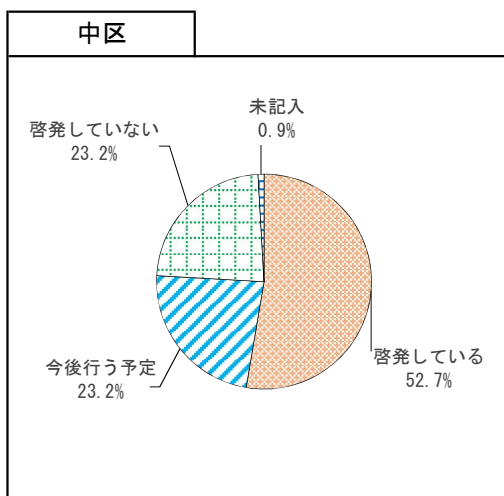
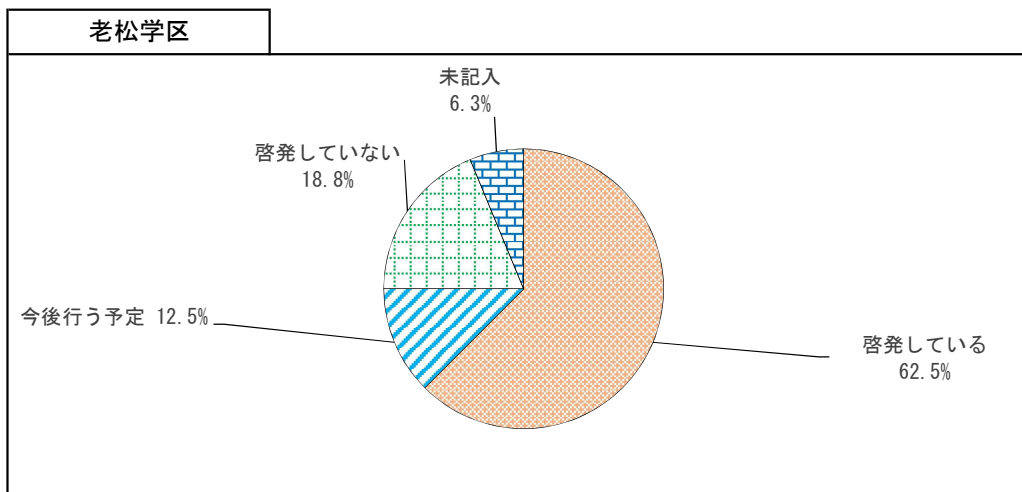
グラフ:住民への避難行動に関する知識・情報 についての啓発活動



問6 住民に対し、各家庭での備え※について啓発しているか教えてください。
 【※例：家庭内備蓄（食料・水、携帯トイレ等）や非常持ち出し品の準備、住宅の耐震化
 や家具の転倒防止、感震ブレーカーの設置など】

	啓発活動	老松学区		中区	名古屋市
		回答数	構成比	構成比	構成比
1	啓発している	10	62.5%	52.7%	58.4%
2	今後行う予定	2	12.5%	23.2%	17.8%
3	啓発していない	3	18.8%	23.2%	22.8%
4	未記入	1	6.3%	0.9%	0.9%
	計	16	100.0%	100.0%	100.0%

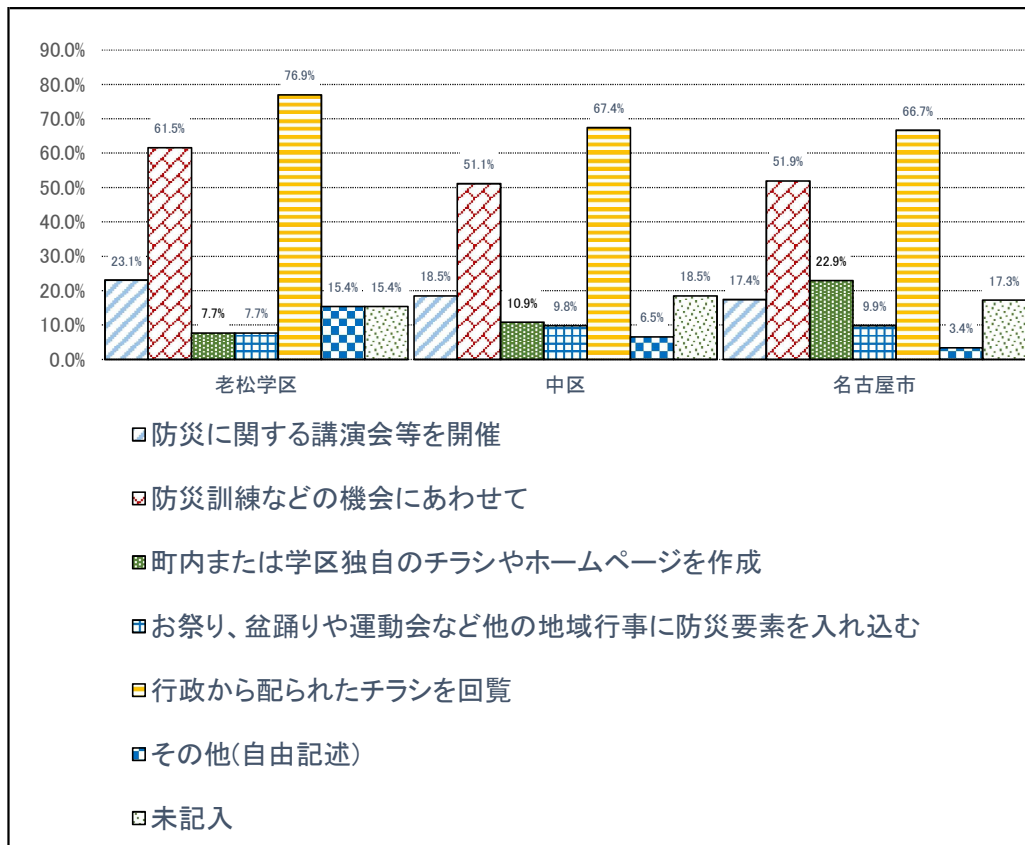
グラフ：住民への各家庭での備えについての啓発活動



問7 問5または問6で「啓発している」または「今後行う予定」と答えた方にお聞きます。どのような方法で自助の啓発を実施または実施予定であるか教えてください。(複数選択可)

	啓発活動の方法	老松学区		中区	名古屋市
		回答数	構成比	構成比	構成比
1	防災に関する講演会等を開催	3	23.1%	18.5%	17.4%
2	防災訓練などの機会にあわせて	8	61.5%	51.1%	51.9%
3	町内または学区独自のチラシやホームページを作成	1	7.7%	10.9%	22.9%
4	お祭り、盆踊りや運動会など他の地域行事に防災要素を入れ込む	1	7.7%	9.8%	9.9%
5	行政から配られたチラシを回覧	10	76.9%	67.4%	66.7%
6	その他(自由記述)	2	15.4%	6.5%	3.4%
7	未記入	2	15.4%	18.5%	17.3%
	計	27	207.7%	182.6%	189.5%

グラフ: 住民への自助啓発の実施または実施予定の方法



【その他】の具体的な内容: 一部抜粋

・食事会など訴求

・町内総会

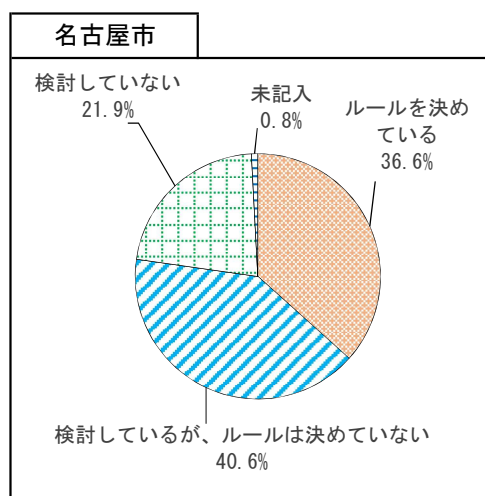
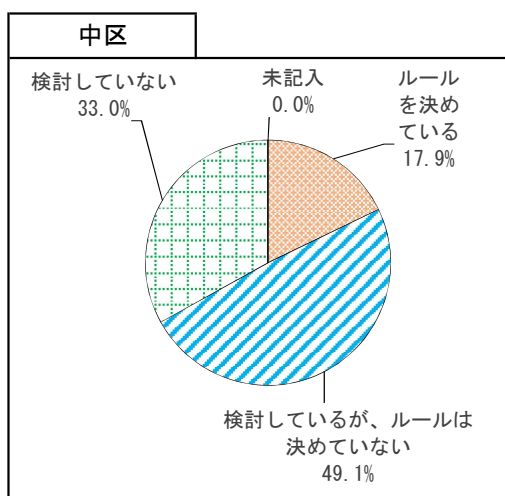
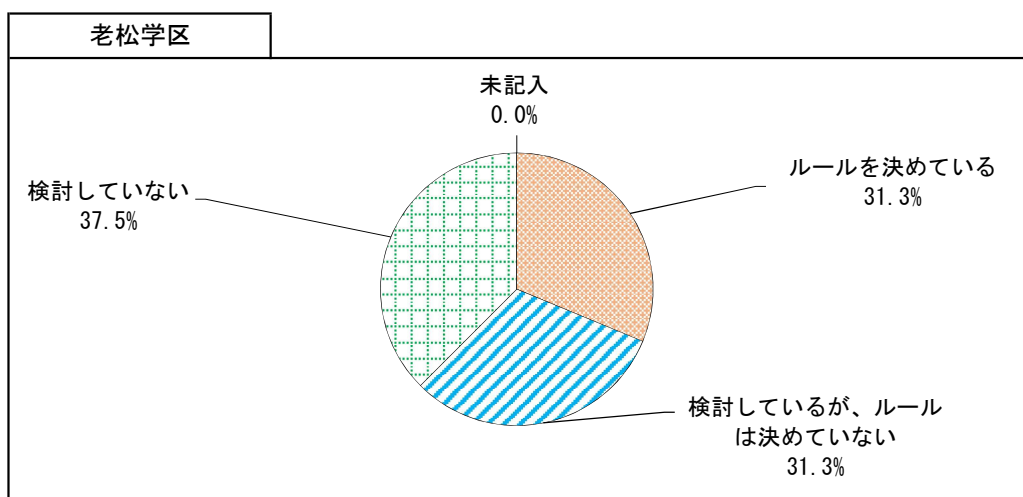
3. 共助の推進

阪神・淡路大震災では、約8割の人が自分(家族)や地域の方々の助け合いにより救助されたといわれていますが、隣近所で助け合う「共助」を推進するためには、あらかじめの備えが大切です。

問8 災害が起きた時や今にも起きそうなときに、隣近所で安否を確認したり災害情報を伝達したりする方法について、地域で検討しルールを決めているか教えてください。

	ルールの策定	老松学区		中区	名古屋市
		回答数	構成比	構成比	構成比
1	ルールを決めている	5	31.3%	17.9%	36.6%
2	検討しているが、ルールは決めていない	5	31.3%	49.1%	40.6%
3	検討していない	6	37.5%	33.0%	21.9%
4	未記入	0	0.0%	0.0%	0.8%
	計	16	100.0%	100.0%	100.0%

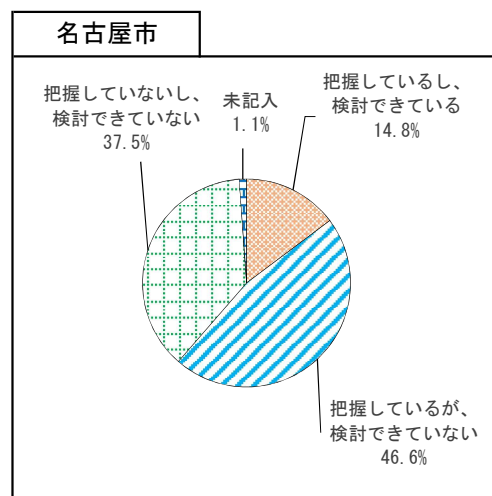
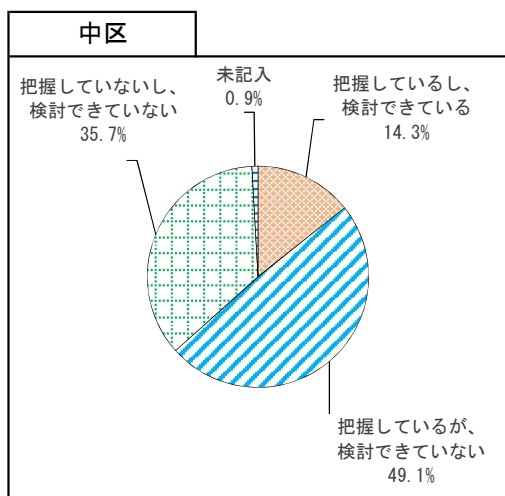
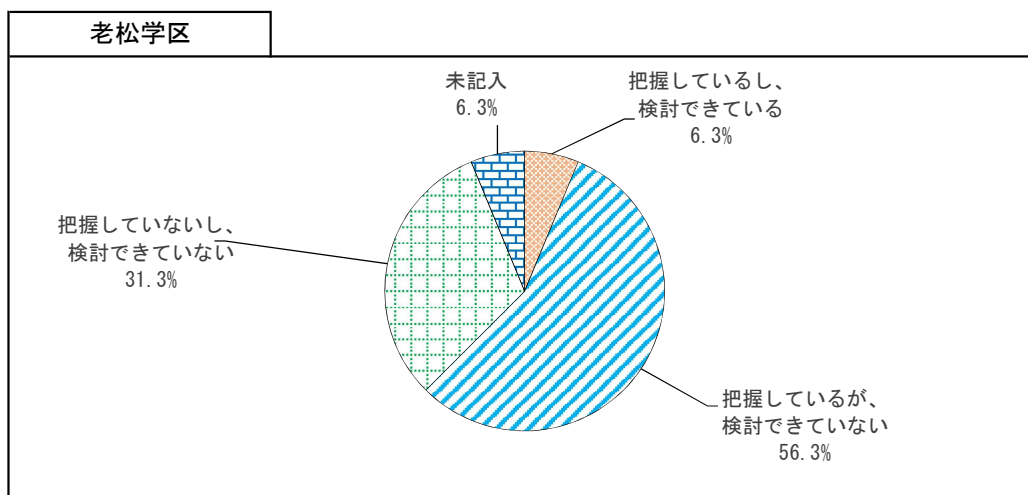
グラフ：地域での共助ルールの策定



問9 自力での避難が困難な方が地域にいるかどうかを把握していますか。またそういった方の避難を支援する方法について検討できているか教えてください。

	避難支援の把握・検討	老松学区		中区	名古屋市
		回答数	構成比	構成比	構成比
1	把握しているし、検討できている	1	6.3%	14.3%	14.8%
2	把握しているが、検討できていない	9	56.3%	49.1%	46.6%
3	把握していないし、検討できていない	5	31.3%	35.7%	37.5%
4	未記入	1	6.3%	0.9%	1.1%
	計	16	100.0%	100.0%	100.0%

グラフ:避難支援の把握・検討状況



問10 問9で「把握しているが、検討できていない」もしくは「把握していないし、検討できていない」と答えた方にお聞きます。検討できていない理由があれば教えてください。
(自由記述抜粋)

- ・集合住宅などは全て把握できない
- ・自治会全体が協力的でないため
- ・家庭の中に入れない。
- ・助ける側が別組織(仕組み)で助けてほしいと手を挙げている事がわかった時点で止まっている。
- ・● もし 把握しても実際それをどのように活用するのか分からない
 - 町内会不参加家庭も多く 実際災害が起きた場合 町内で作った資料に意味があるのか分からない
 - 個人情報との兼ね合いが難しい。
- ・把握はしているが、個人情報保護などの問題でなかなか立ち入れない。
- ・以前に地域に配布して確認をとったが全く無反応だった。
- ・発災時住民の全員がそれぞれご自分の家庭・会社の状況確認に追われ、組織的な支援はご自分の安全を確認した後になると思われる。被災後時間の経過とともに要支援者に対する支援体制は整うと考えられる。しかし、発災直後の喫緊の救助・支援に関して、近隣者で余裕のある人が状況を確認し、救助・支援または応援呼ぶことを判断する。以上のあたりまで漠然としか話し合えていない。
- ・今後、行う予定。

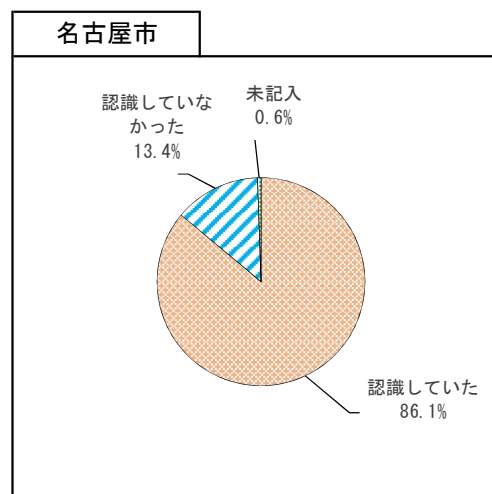
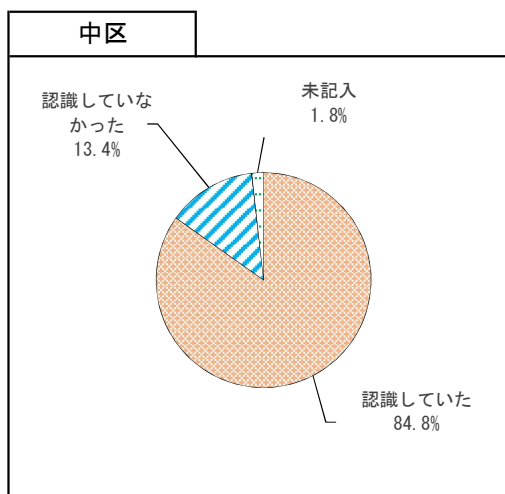
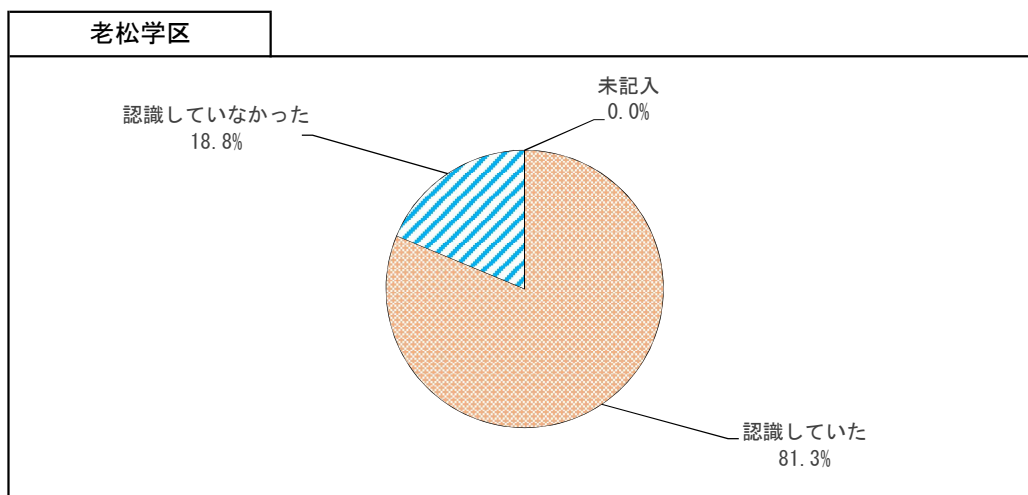
4. 災害救助地区本部の活動

災害時、災害対策委員の皆様は災害救助地区本部委員として、原則市立小学校に設置される災害救助地区本部において、学区内の安否情報や被害状況などをとりまとめ、区本部(区役所)へ伝達するなどの役割を担っていただくことになります。

問11 ご自身が災害救助地区本部委員であることを認識していたか教えてください。

	委員であることの認識	老松学区		中区	名古屋市
		回答数	構成比	構成比	構成比
1	認識していた	13	81.3%	84.8%	86.1%
2	認識していなかった	3	18.8%	13.4%	13.4%
3	未記入	0	0.0%	1.8%	0.6%
	計	16	100.0%	100.0%	100.0%

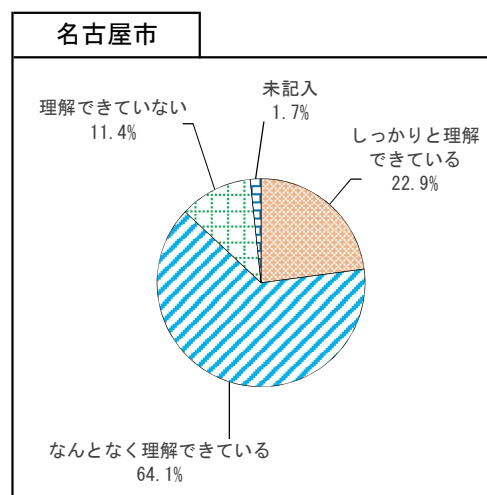
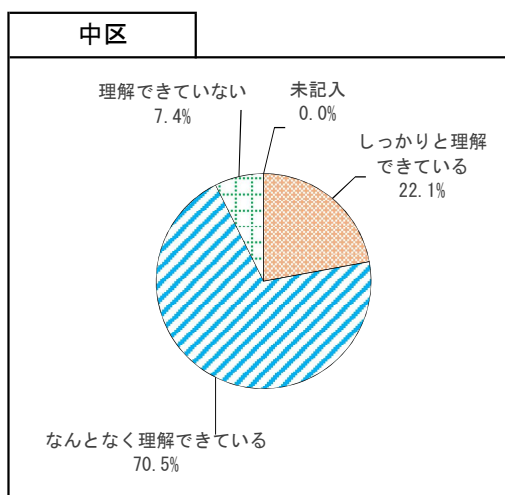
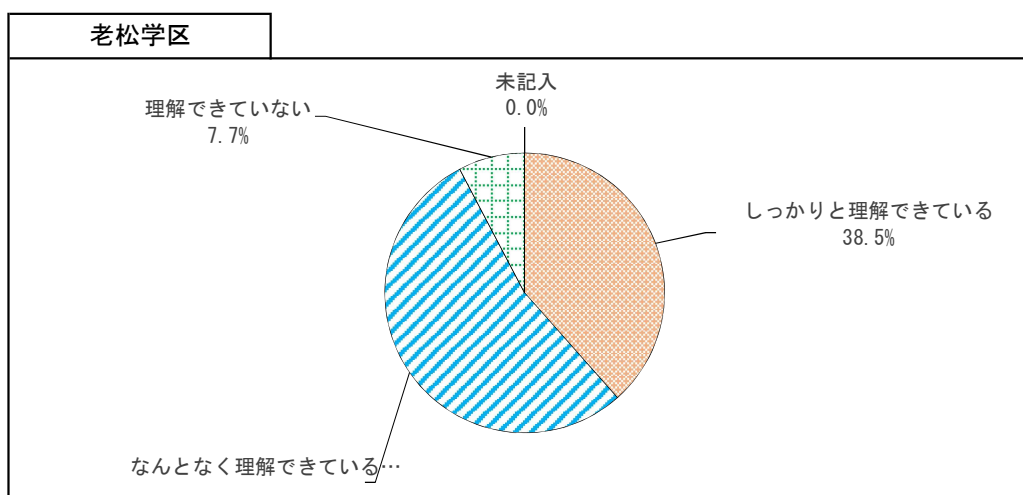
グラフ: 災害救助地区本部委員であることの認識



問12 問11で「認識していた」と回答した方にお聞きします。
災害が発生したときにおいて、ご自身が災害救助地区本部委員として担う役割について、理解できているか教えてください。

	発災時の役割理解度	老松学区		中区	名古屋市
		回答数	構成比	構成比	構成比
1	しっかりと理解できている	5	38.5%	22.1%	22.9%
2	なんとなく理解できている	7	53.8%	70.5%	64.1%
3	理解できていない	1	7.7%	7.4%	11.4%
4	未記入	0	0.0%	0.0%	1.7%
	計	13	100.0%	100.0%	100.0%

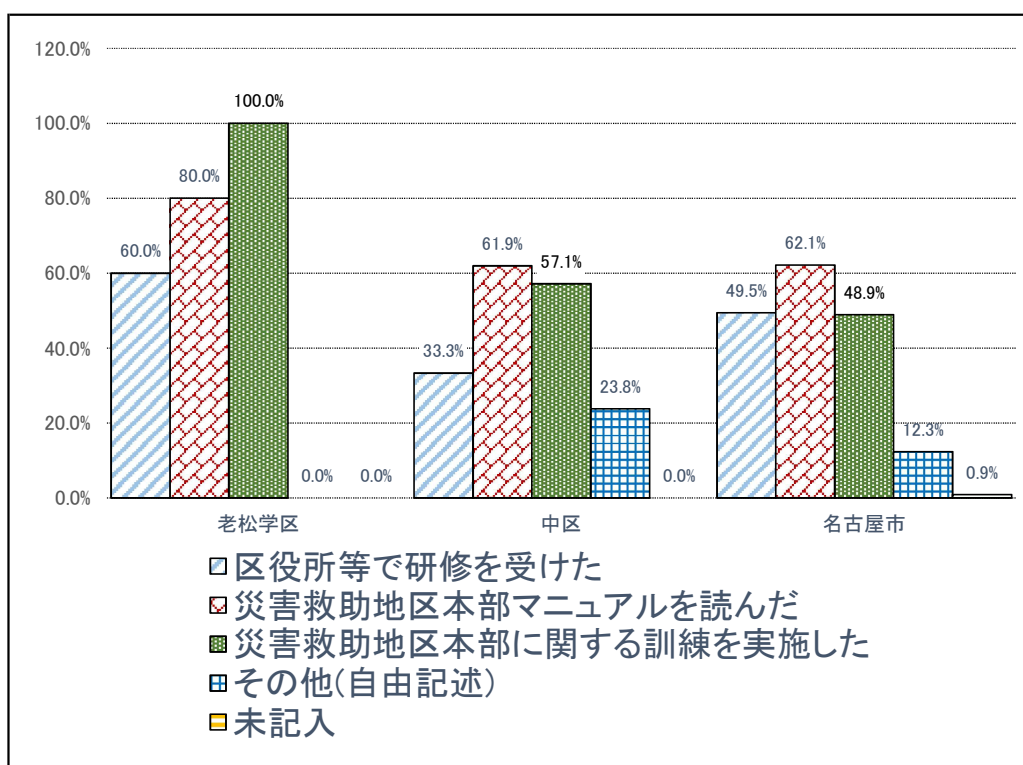
グラフ:発災時の役割理解度



問13 問12で「しっかりと理解できている」と回答した方にお聞きします。
その理由を教えてください。

	役割の把握の理由	老松学区		中区	名古屋市
		回答数	構成比	構成比	構成比
1	区役所等で研修を受けた	3	60.0%	33.3%	49.5%
2	災害救助地区本部マニュアルを読んだ	4	80.0%	61.9%	62.1%
3	災害救助地区本部に関する訓練を実施した	5	100.0%	57.1%	48.9%
4	その他(自由記述)	0	0.0%	23.8%	12.3%
5	未記入	0	0.0%	0.0%	0.9%
	計	12	240.0%	176.2%	173.8%

グラフ: 役割の把握の理由

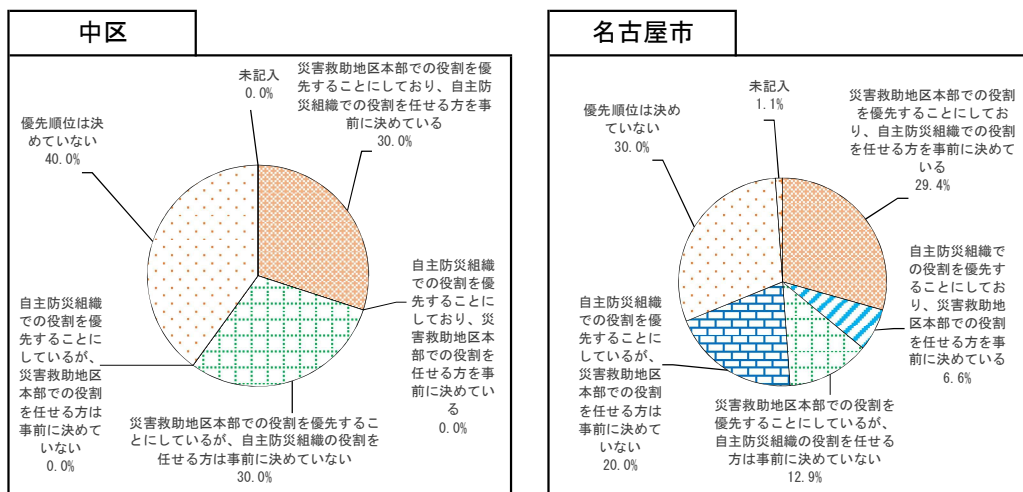
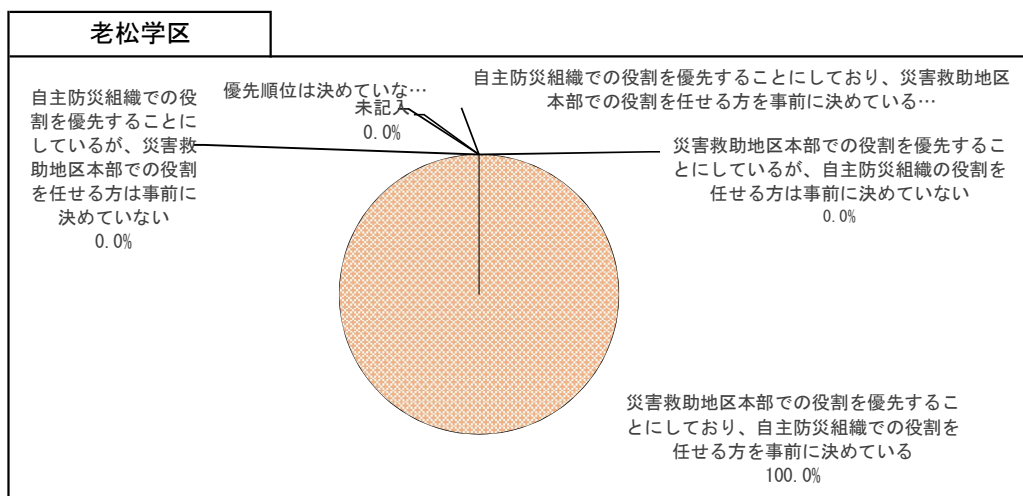


【その他】の具体的な内容:一部抜粋

問14 問4で「自主防災会長」を兼務していると答えた方にお聞きます。
災害時に災害救助地区本部での活動と自主防災組織での活動のどちらの役割を優先するかを決めていますか。また、優先する役割を決めている場合、もう一方の役割を任せる方を事前に決めていますか。

	災害救助地区本部と自主防災組織での活動の優先順位	老松学区		中区	名古屋市
		回答数	構成比	構成比	構成比
1	災害救助地区本部での役割を優先することにしており、自主防災組織での役割を任せる方を事前に決めている	1	100.0%	30.0%	29.4%
2	自主防災組織での役割を優先することにしており、災害救助地区本部での役割を任せる方を事前に決めている	0	0.0%	0.0%	6.6%
3	災害救助地区本部での役割を優先することになっているが、自主防災組織の役割を任せる方は事前に決めている	0	0.0%	30.0%	12.9%
4	自主防災組織での役割を優先することになっているが、災害救助地区本部での役割を任せる方は事前に決めている	0	0.0%	0.0%	20.0%
5	優先順位は決めている	0	0.0%	40.0%	30.0%
6	未記入	0	0.0%	0.0%	1.1%
	計	1	100.0%	100.0%	100.0%

グラフ：災害救助地区本部と自主防災組織での活動の優先順位



5. 避難所の運営

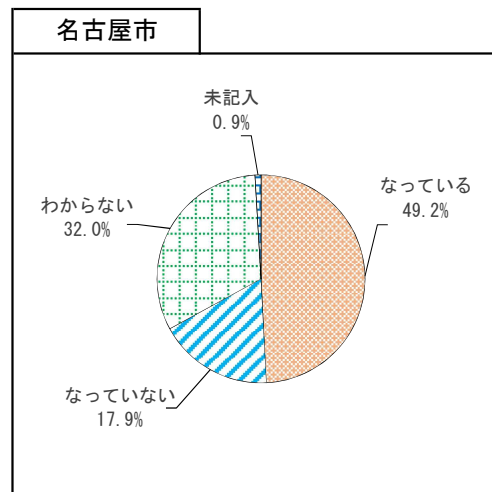
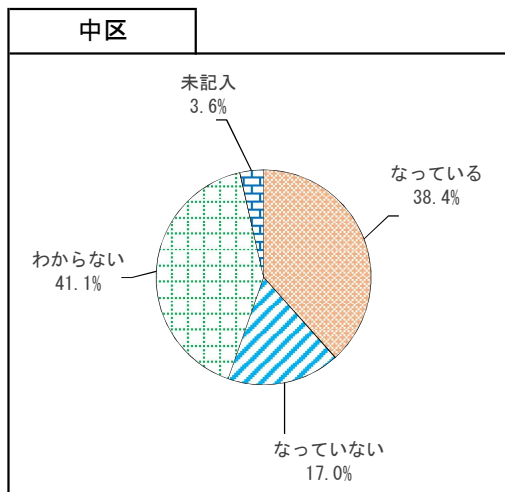
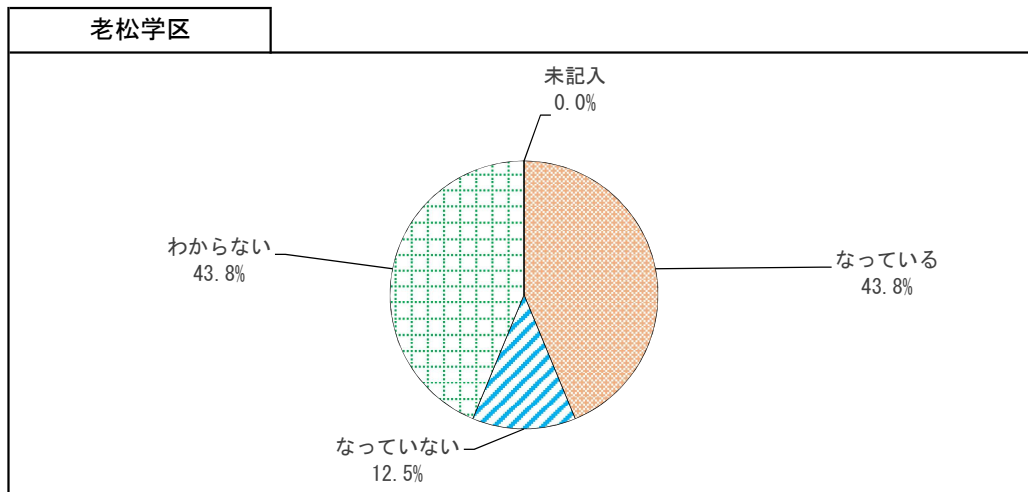
指定避難所(以下、「避難所」といいます。)は、自宅が被災して帰宅できなくなった方が一定期間、避難生活を送る場所です。

避難所の運営は、あらかじめ定めておく「避難所管理組織」を中心とした避難者自身による「自主運営」が基本ですが、災害対策委員の皆様にも避難所の管理運営を補助していただくことにより、円滑な開設・運営が可能となります。

問15 お住まいの学区内にある避難所(市立小中学校、コミュニティセンター等)について、ご自身がその避難所の「避難所管理組織」のメンバーになっているか教えてください。

	「避難所管理組織」 のメンバーになっている か	老松学区		中区	名古屋市
		回答数	構成比	構成比	構成比
1	なっている	7	43.8%	38.4%	49.2%
2	なっていない	2	12.5%	17.0%	17.9%
3	わからない	7	43.8%	41.1%	32.0%
4	未記入	0	0.0%	3.6%	0.9%
	計	16	100.0%	100.0%	100.0%

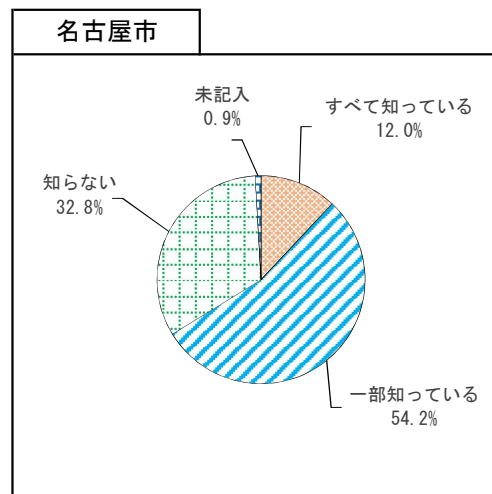
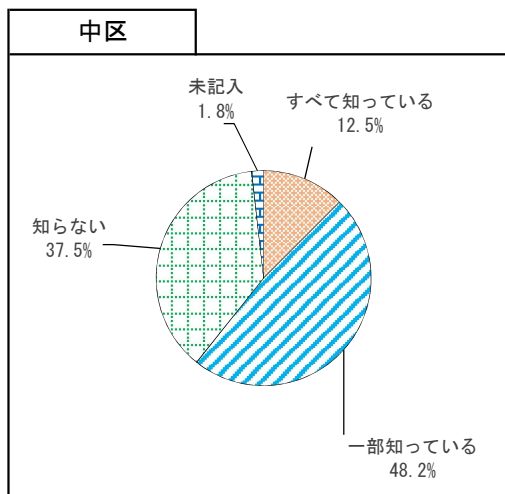
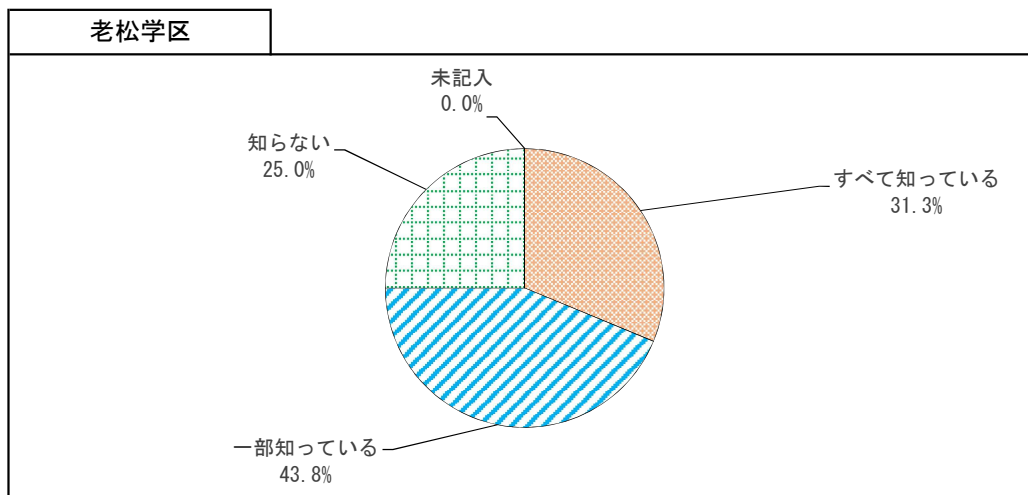
グラフ:「避難所管理組織」のメンバーになっているか



問16 避難所を開設するために必要な情報や手順 について知っているか教えてください。
 【※例 施設の中で避難者が過ごす場所はどこか、避難者の受付はどうやって行うのか、避難所の感染症対策のポイントは何かなど】

	避難所開設に必要な情報や手順の把握	老松学区		中区	名古屋市
		回答数	構成比	構成比	構成比
1	すべて知っている	5	31.3%	12.5%	12.0%
2	一部知っている	7	43.8%	48.2%	54.2%
3	知らない	4	25.0%	37.5%	32.8%
4	未記入	0	0.0%	1.8%	0.9%
	計	16	100.0%	100.0%	100.0%

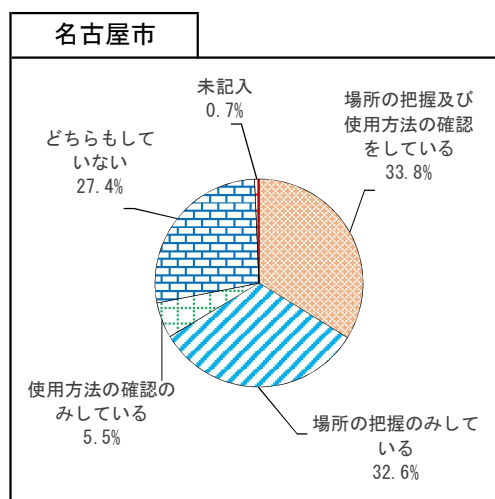
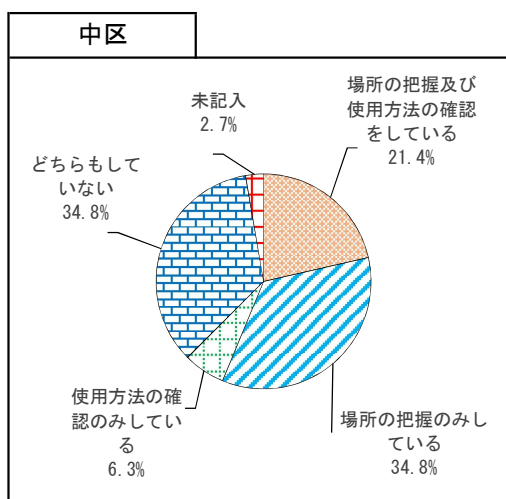
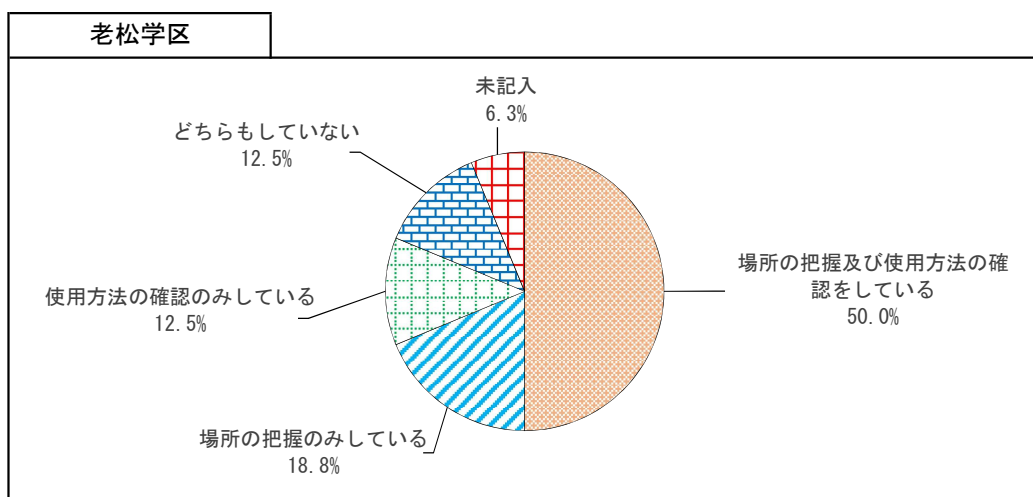
グラフ: 避難所開設に必要な情報・手順の把握



問17 避難所の開設・運営に必要な資機材(発電機、特設公衆電話、地下式給水栓、仮設トイレなど)が保管・設置されている場所を把握し、定期的に使用方法を確認しているか教えてください。

	避難所開設に必要な資材の場所・使用方法の把握	老松学区		中区	名古屋市
		回答数	構成比	構成比	構成比
1	場所の把握及び使用方法の確認をしている	8	50.0%	21.4%	33.8%
2	場所の把握のみしている	3	18.8%	34.8%	32.6%
3	使用方法の確認のみしている	2	12.5%	6.3%	5.5%
4	どちらもしていない	2	12.5%	34.8%	27.4%
5	未記入	1	6.3%	2.7%	0.7%
	計	16	100.0%	100.0%	100.0%

グラフ: 避難所開設に必要な資材の場所・使用方法の把握



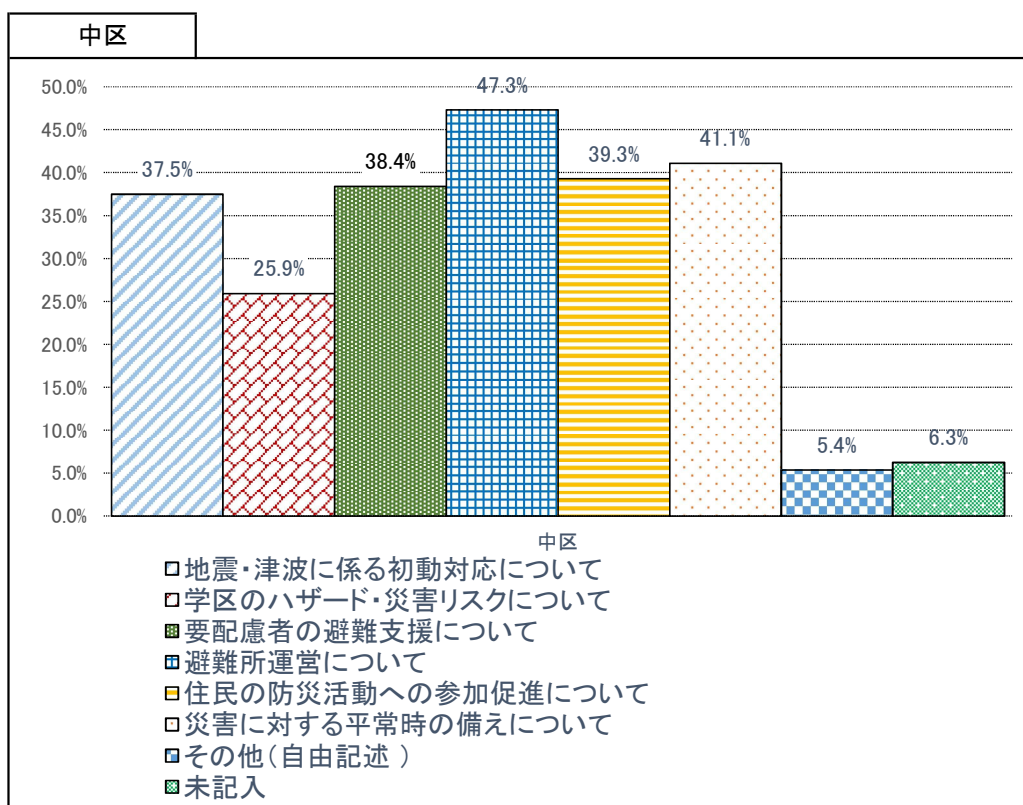
6. 今後の防災活動について

地域の防災力を高めるためには、災害対応に必要な知識を身につけるとともに、地域の住民同士で区役所や消防署などの防災関係機関も交えながら防災について話し合いを行い、災害時にスムーズに活動できるように訓練を積むことが必要です。
今後、災害対策委員として積極的に取り組みたい防災活動を教えてください。

問18 研修や講習会で受講または取り上げたいテーマ(複数選択可)

	研修や講習会で受講または取り上げたいテーマ	中区	
		回答数	構成比
1	地震・津波に係る初動対応について	42	37.5%
2	学区のハザード・災害リスクについて	29	25.9%
3	要配慮者の避難支援について	43	38.4%
4	避難所運営について	53	47.3%
5	住民の防災活動への参加促進について	44	39.3%
6	災害に対する平常時の備えについて	46	41.1%
7	その他(自由記述)	6	5.4%
8	未記入	7	6.3%
	計	270	241.1%

グラフ: 研修や講習会で受講または取り上げたいテーマ(複数選択可)

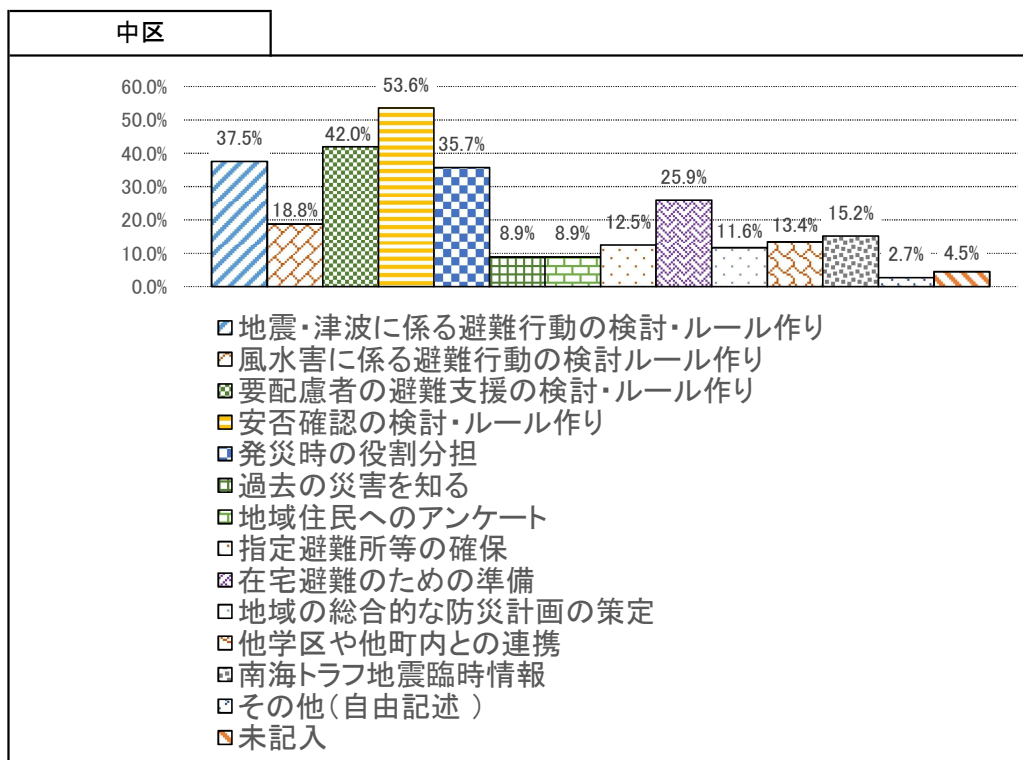


【その他】の具体的な内容: 一部抜粋

問19 住民同士や、区役所・消防署と行う話し合いで取り上げたいテーマ
(複数選択可)

	テーマ	中区	
		回答数	構成比
1	地震・津波に係る避難行動の検討・ルール作り	42	37.5%
2	風水害に係る避難行動の検討・ルール作り	21	18.8%
3	要配慮者の避難支援の検討・ルール作り	47	42.0%
4	安否確認の検討・ルール作り	60	53.6%
5	発災時の役割分担	40	35.7%
6	過去の災害を知る	10	8.9%
7	地域住民へのアンケート	10	8.9%
8	指定避難所等の確保	14	12.5%
9	在宅避難のための準備	29	25.9%
10	地域の総合的な防災計画の策定	13	11.6%
11	他学区や他町内との連携	15	13.4%
12	南海トラフ地震臨時情報	17	15.2%
13	その他(自由記述)	3	2.7%
14	未記入	5	4.5%
	計	326	291.1%

グラフ: 区役所・消防署と行う話し合いで取り上げたいテーマ

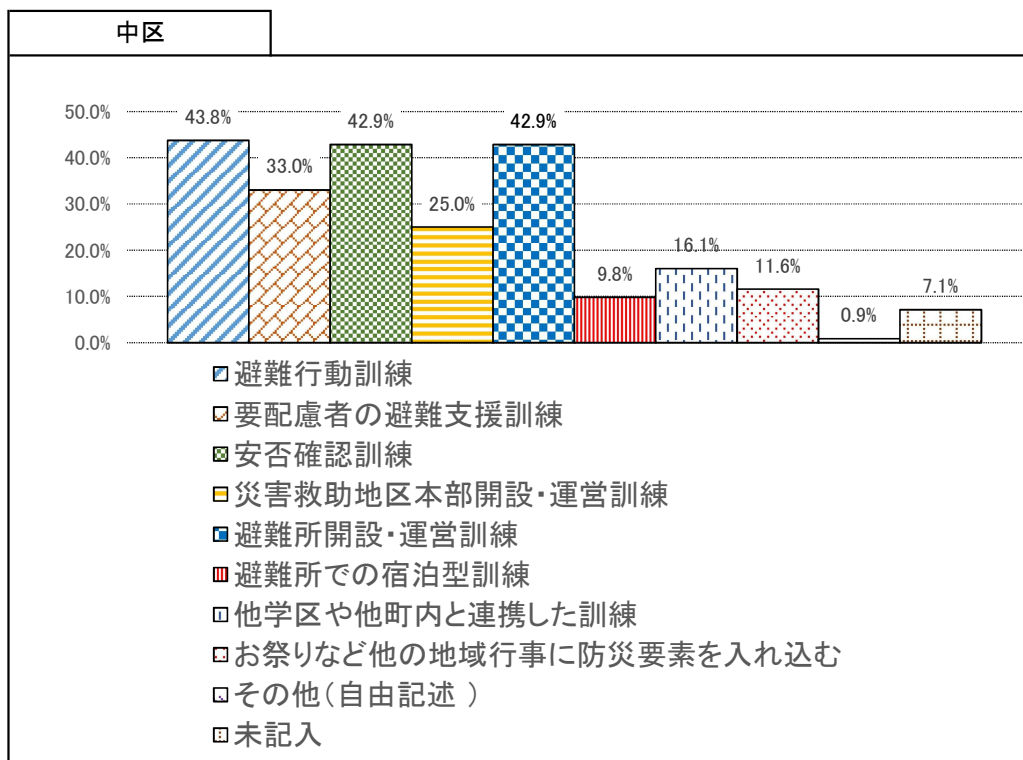


【その他】の具体的な内容: 一部抜粋

問20 参加または開催したい訓練などの活動（複数選択可）

	参加・開催したい活動	中区	
		回答数	構成比
1	避難行動訓練	49	43.8%
2	要配慮者の避難支援訓練	37	33.0%
3	安否確認訓練	48	42.9%
4	災害救助地区本部開設・運営訓練	28	25.0%
5	避難所開設・運営訓練	48	42.9%
6	避難所での宿泊型訓練	11	9.8%
7	他学区や他町内と連携した訓練	18	16.1%
8	お祭りなど他の地域行事に防災要素を入れ込む	13	11.6%
9	その他（自由記述）	1	0.9%
10	未記入	8	7.1%
	計	261	233.0%

グラフ:参加・開催したい訓練などの活動



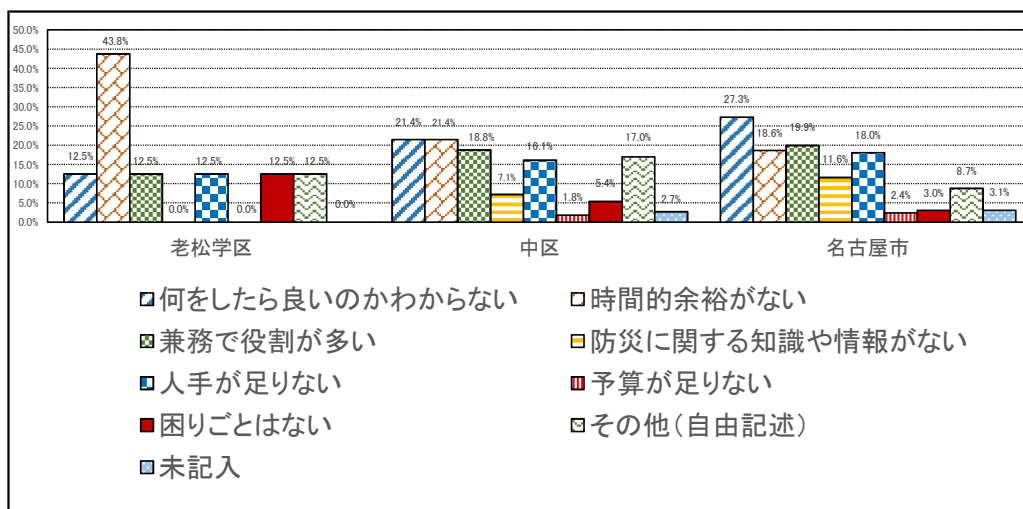
【その他】の具体的な内容:一部抜粋

7. 活動に関する障害や必要な支援

問21 現在、災害対策委員として地域防災活動を行うにあたり、困っていることはありますか。
最も大きな困りごとを1つ教えてください

	最も大きな困りごと	老松学区		中区	名古屋市
		回答数	構成比	構成比	構成比
1	何をしたら良いのかわからない	2	12.5%	21.4%	27.3%
2	時間的余裕がない	7	43.8%	21.4%	18.6%
3	兼務で役割が多い	2	12.5%	18.8%	19.9%
4	防災に関する知識や情報がない	0	0.0%	7.1%	11.6%
5	人手が足りない	2	12.5%	16.1%	18.0%
6	予算が足りない	0	0.0%	1.8%	2.4%
7	困りごとはない	2	12.5%	5.4%	3.0%
8	その他(自由記述)	2	12.5%	17.0%	8.7%
9	未記入	0	0.0%	2.7%	3.1%
	計	17	106.3%	111.6%	112.7%

グラフ: 防災活動の際の最も大きな困りごと



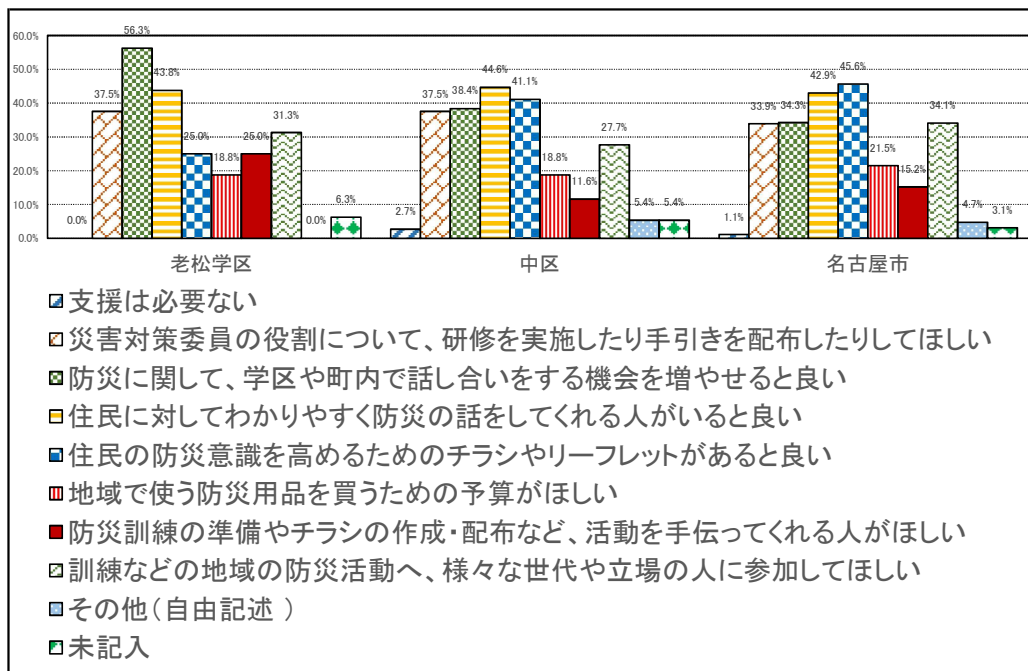
【その他】の具体的な内容:一部抜粋

- ・マンションが多くなり、住民の人とのつながりが少ない
- ・要支援者のリストアップと協力者間での要支援者に対する対応の話し合いと安否確認訓練を検討している。

問22 災害対策委員として活動するにあたり、どのような支援があると良いですか。
上位3つまでお答えください

	活動に必要な支援	老松学区		中区	名古屋市
		回答数	構成比	構成比	構成比
1	支援は必要ない	0	0.0%	2.7%	1.1%
2	災害対策委員の役割について、研修を実施したり手引きを配布したりしてほしい	6	37.5%	37.5%	33.9%
3	防災に関して、学区や町内で話し合いをする機会を増やせると良い	9	56.3%	38.4%	34.3%
4	住民に対してわかりやすく防災の話をしてくれる人がいると良い	7	43.8%	44.6%	42.9%
5	住民の防災意識を高めるためのチラシやリーフレットがあると良い	4	25.0%	41.1%	45.6%
6	地域で使う防災用品を買うための予算がほしい	3	18.8%	18.8%	21.5%
7	防災訓練の準備やチラシの作成・配布など、活動を手伝ってくれる人がほしい	4	25.0%	11.6%	15.2%
8	訓練などの地域の防災活動へ、様々な世代や立場の人に参加してほしい	5	31.3%	27.7%	34.1%
9	その他(自由記述)	0	0.0%	5.4%	4.7%
10	未記入	1	6.3%	5.4%	3.1%
	計	39	243.8%	233.0%	236.5%

グラフ: 活動に必要な支援

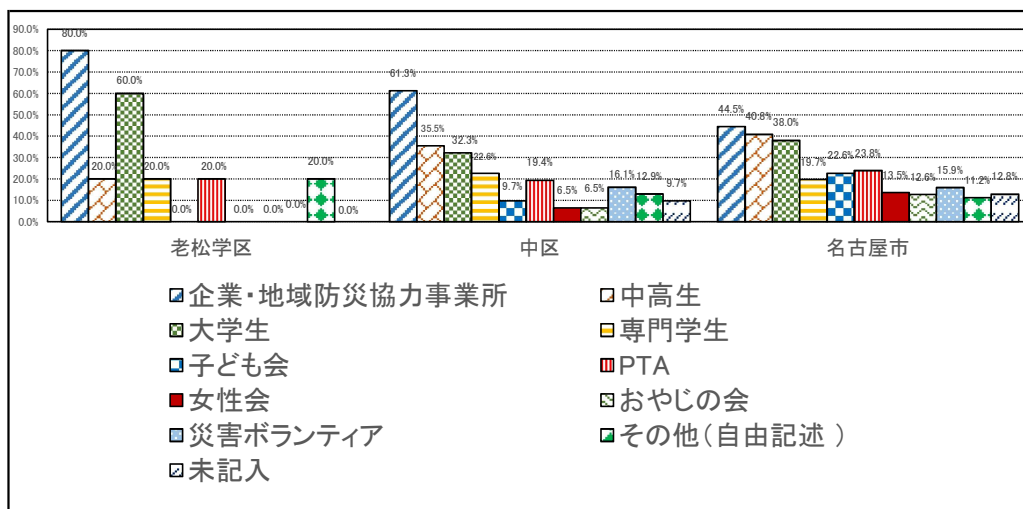


【その他】の具体的な内容: 一部抜粋

問22-8 問22で「訓練などの地域の防災活動へ様々な世代や立場の人に参加してほしい」と回答された方にお聞きします。
具体的にどんな人に参加してほしいですか(複数選択可)

	地域の防災活動へ参加してほしい人	老松学区		中区	名古屋市
		回答数	構成比	構成比	構成比
1	企業・地域防災協力事業所	4	80.0%	61.3%	44.5%
2	中高生	1	20.0%	35.5%	40.8%
3	大学生	3	60.0%	32.3%	38.0%
4	専門学生	1	20.0%	22.6%	19.7%
5	子ども会	0	0.0%	9.7%	22.6%
6	PTA	1	20.0%	19.4%	23.8%
7	女性会	0	0.0%	6.5%	13.5%
8	おやじの会	0	0.0%	6.5%	12.6%
9	災害ボランティア	0	0.0%	16.1%	15.9%
10	その他(自由記述)	1	20.0%	12.9%	11.2%
11	未記入	0	0.0%	9.7%	12.8%
	計	11	220.0%	232.3%	255.5%

グラフ: 地域の防災活動へ参加してほしい人



【その他】の具体的な内容: 一部抜粋

・外国人あるいは外国にルーツのある人

8. 最後に

問23 災害対策委員の業務や地域防災活動の実施等についてご意見等ございましたら、ご自由にご記入ください。(自由記述抜粋)

- ・時間的制約がある中でもやれることはやっていきたい。委員として必要な活動にはできるだけ参加したいと思います。
- ・非常食や長期保存水を定期的に支給して欲しい。
- ・一応役割は決まっているが、いざという時決まった順序で対応できるか自信がないし自分の家族を置いて避難所運営もできるかその場にならないとわからない
- ・過去の防災訓練から避難所開設の手順、および必要な資材の機器の存在を漠然と理解しているが、詳しい内容まで理解できていない。
防災対策委員として被災後早い時期に避難所へ詰め町内に戻れないと、町内会の要支援者に対する対応やその他の状況を把握できないことが心配です。

